



とび 鳶

浜田市立第三中学校学校だより 第8号
2024(令和6)年12月20日(金)
〒697-1322 浜田市日脚町572
TEL 0855-27-1150
FAX 0855-27-1151
E-mail dai3@hamada.ed.jp

「2学期を振り返って」

校長 久佐 日佐志

今年も早いもので2学期も残すところあと数日となりました。

職員玄関の生け花にふと目を向けると、昨年12月の学校だよりで、ネコヤナギの花言葉「努力が報われる」をご紹介したことを思い出しました。月日の経つ速さを改めて感じさせられます。1年をしめくくるこの時期、固い花芽が春に備え準備をしているように、生徒一人一人が1日1日を大切に過ごしながら新年を迎える準備をしてほしいと思っています。

2学期を振り返ってみると、体育祭、修学旅行、宿泊研修、合唱コンクール、宮島遠足、生徒会企画文化祭など、3年生を中心に様々な行事や活動を楽しみながら、協力して一つ一つを見事に成し遂げてくれました。失敗することやトラブルも少なからずありましたが、様々な困難なことを乗り越えていく、頼もしさも見せてくれたように感じています。保護者・地域のみなさまに、たくさんご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、26日より冬季休業に入ります。この休み中には、一年の節目となるお正月があります。日本の伝統行事を大切にしながら、一年を振り返るよい機会となることを願っています。

なお、3学期始業式は1月8日(水)としております。生徒たちの元気な姿を楽しみにしています。

【総合入学者選抜が始まります】

本年度より公立高等学校では、一般選抜(3月初旬にある国社数理英の学力検査と学校によっては面接、実技検査)の前に、総合入学者選抜が行われます。これは各高校が、「求める生徒像」をもとに出願資格を定め、各校ごとに選抜検査を実施するものです。募集人員は定員の10~40%で各校が設定します。今までの推薦試験と大きな違いは、生徒が出願資格に基づき志願するもので、校長の推薦を伴わないことです。

例えば浜田市内高等学校の出願要件は、「基本的な生活習慣及び学習習慣が確立しているもの」「ボランティア活動や生徒会活動等に熱心に取り組み、入学後も意欲的な学校生活が期待できるもの」「高校の学習活動に対して明確な目的意識を持ち、学ぶ意欲にあふれているもの」など他にも多くの要件が示されています。すべての高校で面接・口頭試問が行われます。つまり、生徒が今まで培ってきた意欲や経験したこと・身につけてきたこと、を自分の言葉でどれだけ表現できるかが問われる選抜方法ともいえます。

本校でも期末懇談の結果をもとに、入学試験の準備・手続きを着々と進めております。3年生は自分の希望や意欲、強みや得意なことをしっかり表現できるよう準備をしてくれることと期待しています。1、2年生も1年後、2年後に「自分は何を強みとして訴えることができるのか」しっかり考え、日々の生活を意識して過ごしてほしいと思っています。

保健講話(12月5日)

学校歯科医の竹田岳史先生(竹田歯科医院)を講師としてお迎えし、「歯と口の健康教室」を開催しました。浜田三中のむし歯保有率は、浜田市平均や全国平均をかなり上回っている状況にあります。実際に健康診断をされた竹田先生によると、三中生のむし歯保有率は高いものの、大半は軽度のむし歯で中には歯みがきで改善できるものも多いとのことです。実際の口腔内の細菌の映像を見せていただき、驚いた様子の生徒も多かったです。先生のお話を聞いて、それぞれが自分の歯みがきの様子を振り返ったり、これから意識して取り組みたいことについて考えたりすることができました。全校で給食後の歯みがきが習慣化し、むし歯保有率が減少することと期待しています。(坂口)

薬物乱用防止教室(12月6日)

西部少年サポートセンターで少年補導職員をされている高尾祥平さんに講師をお願いして、全校生徒を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。薬物乱用の恐ろしさや違法な薬物への巧妙な誘惑に乗らないことなどを、わかりやすく語っていただきました。終始「問題はルールを守らずに乱用することなのです。」とルールの大切さを強調されたことが印象的でした。(永見)

ふれあい作品展見学(12月6日)

浜田市世界こども美術館で、浜田市内小中学校の特別支援学級の作品展がありました。絵画や習字だけでなく、絵本やびっくりボックスなど、読んだり触れたりして楽しめる作品もありました。浜田三中からは、ひまわり学級とたんぽぽ学級の生徒が授業で作った絵画や小物を出品しました。他校の生徒が作った作品をじっくりと鑑賞し、同じようにがんばっている他校の友人とのつながりを感じることができました。(野津)



3年マナーアップ講座 with 浜商生(12月12日)

本校ではキャリア教育の一貫として、自分を表現する力の育成に努めています。

1回目は職場体験前に地域の方に自己PRを、2回目は地域の方と SUN 中トークで会話力、3回目にあたる今回は浜商生さんから面接のマナーについて学びました。中学3年生は進路選択の時期であり、将来の希望や高校生活の意欲を表現し、伝える力が求められています。今回は浜田商業の生徒さんに、面接の心得を教えてもらいました。面接のよい例、悪い例を演示してもらい、分かりやすくポイントを伝えてくれました。

生徒の感想からは、「面接では、語先後礼を意識し、言葉遣いに気をつけたい。」「今までの自分の礼や姿勢が悪かったことに気づいた。授業の始まりや終わりの態度も面接につながるので、身近なところから改めたい。」という感想を持ち、充実した講座となりました。

笑顔でハキハキさわやかに伝えてくださった浜商生さんに感謝をしています。ありがとうございました。(荒田)



人権学習(ニコニコフォーラム事前学習)

ニコニコフォーラムの事前学習として、DVD「大切なひと」を視聴し、「ネット社会における同和問題と人権」について考えました。

<1年生>

DVD 視聴後にあらずじ、キーワードの確認、個人活動、グループ活動(意見交換)をし、最後にまとめの発表を行いました。(阿部)

<2年生>

各学級で、登場人物の気持ちや行動の理由を考え、グループ内で共有したあと、学級全体で意見交換しました。最後に、自分ができることは何かを考え、ワークシートに記入しました。(三島)

<3年生>

差別や偏見を助長する、配慮に欠ける動画投稿などによる被害で、精神的苦痛や生活上の困難など様々な問題が現れ、社会問題となっています。誰もがお互いの人権を尊重する社会の実現に向け、今の自分にできることを共有しました。(和田)

【生徒の感想】

・「たったひとつの行動で、傷つく人が何人もいることがわかった。世の中は見えていないだけでたくさんの誹謗中傷や部落差別があることがわかった。」「SNS などに発信する前に人の気持ちを考えてから発信する。」(1年生)

・「人のことを考えずに行動をしない。人の気持ちを考える。」(2年生)

・「軽い気持ちで相手のことを考えずに物事を進めたり発言したりすることで、知らずに差別していることに気づきました。普段の生活や SNS も同じで、人が嫌がることをすると、それが自分に返ってくると思いました。自分の発言やネットの情報には気をつけて生活をしたいです。」(3年生)

第78回ニコニコフォーラム(12月16日)

今回は、徳島県から大湾 昇(おおわん のぼる)さんを講師にお招きして、「あることをないことにしない」という演題で講演していただきました。インフルエンザの感染者が急激に増え、体育館での講演会を急遽取りやめ、オンラインでリモート講演会に切り替え実施しました。講師の方には会議室で生徒会執行部の生徒を前にして話をしてもらい、それを各教室に配信、多くの生徒はテレビ画面を通して講演を視聴しました。講演会は、心理テストから始まりました。選んだ動物に当てはまる言葉を紹介され、楽しい雰囲気一場が和みました。



大湾さんからは、具体的な人間関係の例を示して「差別」についてご自身の思いを話していただきました。また、ご自身の生い立ち、高校生時代の様子や心の変化なども加え、自らの実体験を通して差別やいじめについて具体的に分かりやすく話されました。今後私たちがどう生活していくか考えさせられる内容でした。(和田)

【生徒の感想】

・「差別の意味は」と聞かれ、「努力しても変えることができない部分を、悪意をもって攻撃すること」と話されたことに納得しました。悩んでいる人がいたら、大湾さんのように、勇気をもって少しでも助けたいと思います。

・大湾さんが自身のことを隠さずお話をされたことに感動しました。演題の「あることをないことにしない」という言葉が心に残りました。